

初音ミクが子どもアシストセンターを応援!

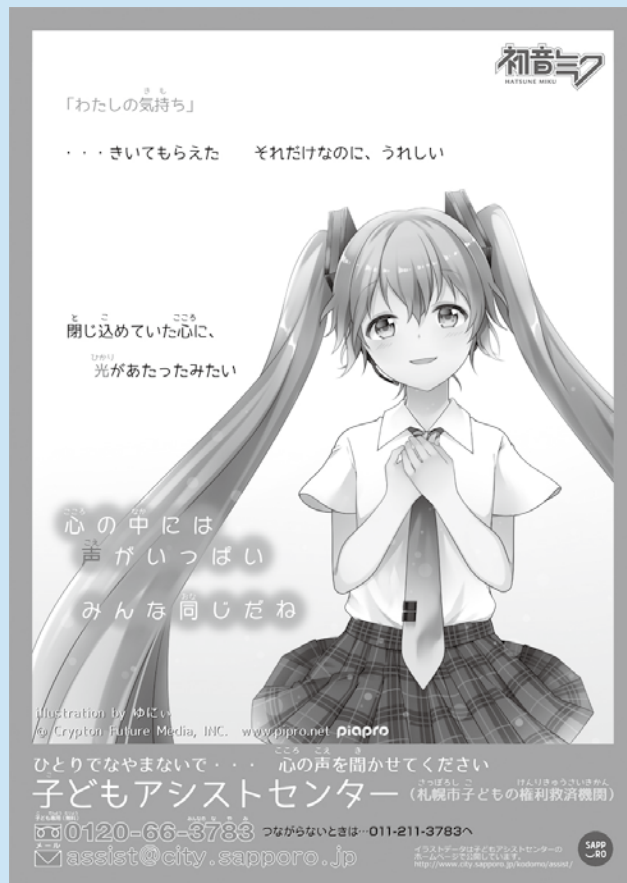
子どもアシストセンター(札幌市子どもの権利救済機関)では、友人・親子関係など子どもに関わるさまざまな悩みを幅広くお聴きし、いじめなどの「子どもの権利の侵害」から救済を図る活動をしています。年間1,000人以上の方から相談が寄せられ、その半数以上が子ども本人からの相談です。

子どもアシストセンターでは、子どもたちが、悩みがあるときにいつでも気兼ねなく相談できるように、子どもアシストセンターのことを身近な相談先としてもっと知ってもらいたいと願っています。

このたび、日本を代表するバーチャル・シンガー「初音ミク」を生み出したクリプトン・フューチャー・メディア株式会社様のご厚意により、子どもアシストセンターのPRのために、初音ミクのイラストを新たに描きおろしていただきました(イラスト作画:ゆにい様)。

やさしい眼差しが、見ている人の共感を誘うような素敵なミクさんですね。

春には、このイラストによるラミネートポスターを札幌市内の小中学校に配布する予定です。



「子どもの権利委員会」委員を募集します!

「子どもの権利条例」に基づき設置された附属機関「札幌市子どもの権利委員会」の市民委員を募集します。

委員会は年数回開催され、子どもに関する札幌市の施策や子どもの権利の保障の状況を検証しています。専門家も在籍しており、市民委員の皆さまには市民の立場からご意見をいただきます。

今回の公募では、高校生等(15歳から18歳)の「子ども」と、18歳以上の「大人」、それぞれ若干名を募集する予定です。応募方法等、詳細は、**広報さっぽろ4月号**やホームページ等でご確認ください。(応募締め切りは、4月下旬の予定です。)

多くの皆さまからのご応募をお待ちしております。

問い合わせ:

札幌市子ども未来局子どもの権利推進課
Tel 011-211-2942

子どもの権利に関する出前講座を実施しています

子ども未来局では、「子どもの権利条例の内容」や「子どもアシストセンターに寄せられる相談から見える子どもの姿」などについて、市の職員が地域に出向いて直接説明する「出前講座」を実施しています(無料)。

出前講座は、おおむね10人以上の団体、グループの皆さまにお申込みいただけます。これまで、PTAや町内会、青少年関係団体などから、多数のお申込みを頂いております。

「権利条例について知りたい」、「子どもの参加とまちづくり」、「子どもの権利を守るってどんなことだろう?」など、グループでの勉強会や研修会に利用してみませんか。

★子どもの権利条例、子どもの参加などについての申し込み:

札幌市子ども未来局子どもの権利推進課
Tel 011-211-2942

★子どもアシストセンターの活動、子どもの悩みやトラブルなどについての申し込み:

札幌市子ども未来局子どもの権利救済事務局
Tel 011-211-2946



子どもがきらりと輝くまちに

子どもの権利ニュース

The Rights of the Child

第14号
平成28年3月発行

いっしょにやるうよ!

~「新川高校と近隣小学校・中学校との交流事業」~

2月26日(金)、新川小学校と新光小学校にて、新川高校の生徒による絵本の読み聞かせの授業が行われました。この取組は、高校生が中心となって小中学校の子どもと一緒に企画されました。



2つの小学校で同時開催

新川小学校と新光小学校は、新川高校(北区新川5条14丁目)から徒歩5分以内の近隣にある小学校です。新川小学校と新光小学校の1・2年生及び特別支援学級の計14クラスでは、2月26日(金)に5時限目の授業として、新川高校の生徒が小学生の児童に絵本の読み聞かせを行いました。

この日は、新川高校の生徒会や図書館の生徒28人が参加。小学校の各教室では、高校生が二人一組で担当し、2冊の絵本を丁寧に読み聞かせすると、小学生の子どもたちは興味津々で絵本に夢中になっていました。



新川西中学校の生徒数名も参加しています。

絵本の持ち方や語り方、読み聞かせの最初と最後には必ず絵本の表紙を見せてあげるなど、図書館の職員から学んだノウハウを生かして読み聞かせする高校生たち。

最初は緊張していた高校生も、次第に打ち解けて、絵本の世界を子どもたちと分かち合います。

読み聞かせの後には、フルーツバスケットやジェスチャー当てクイズなどで楽しくふれあい、教室には笑顔があふれていました。



これまでも様々な交流が

この日のために、2月8日(月)には、札幌市中央図書館の職員を講師として新川高校に招き、絵本の読み聞かせ講習会を実施しました。この講習会では、新川高校の生徒28人のほか、

以前から「新川地区学校・地域連携協議会」として、新川高校の生徒会が中心となって、近隣地域の小中学校(新川小、新光小、新川西中)の児童会・生徒会と連携し、地域貢献や学校

間交流を行っていました。協議会には地域の町内会やまちづくりセンターも参画して、年間の活動を計画しています。

昨年9月には、小中学生が考えた「元気になれる標語」や「交通マナーの標語」を募集し、新川高校の生徒がデザインしたキャラクターのイラストを添えたラミネートポスターにして数枚ずつそれぞれの小中学校に配っています。



また、昨年11月には、近隣の公園や歩道で、合同で落ち葉拾いを行い、地域の美化に貢献しています。この活動は、既に11年前から取り組んでいるとのことでした。

今回の「読み聞かせ授業」は、新川地区でも初めての試みでした。授業で小学生相手に話を子どもたちの視線を浴びるのも、高校生には初めてのこと。小学生にとっても高校生にとっても、とてもよい刺激になったようでした。

